

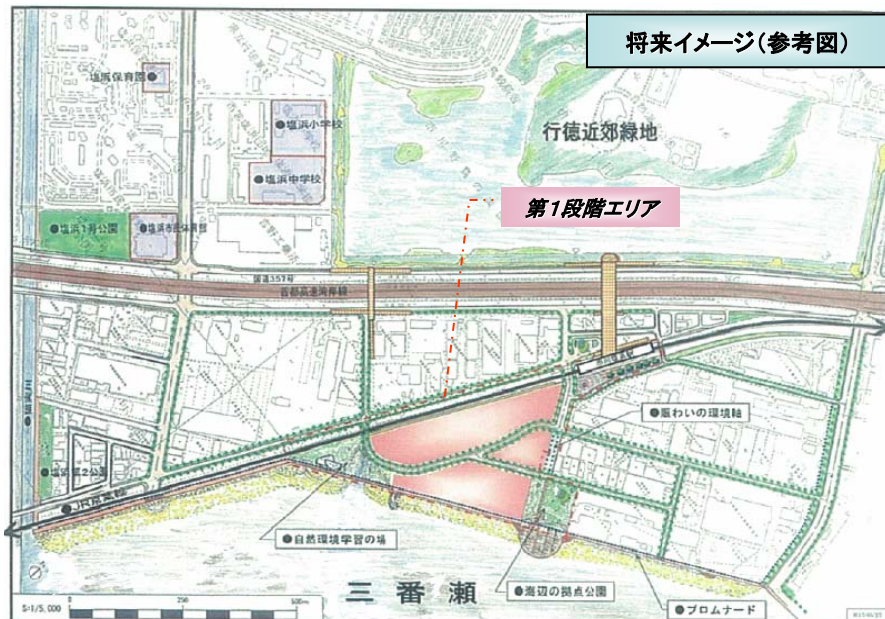
(5) H20年度モニタリング計画(案)

- | | |
|----------|---|
| 1. 地形調査 | <ul style="list-style-type: none"> ● 施工延長に合わせて測量範囲を拡大。 ● 石積護岸端部脇の地形測量については、回数を増やす。年4回+イベント(台風等の高波)後 |
| 2. 底質 | ■ 現状の通り(検証基準については、施工箇所毎に検討する) |
| 3. 生物 | ■ 乱積部の潮間帯に、ライントランセクト法測線、及び定量採取4検体(高・中・低潮帯、のり先)を追加 |
| 4. 波浪・流況 | ◆ 最大60日間連続観測を年2回実施 |
| 5. 青潮時 | ■ 現状の通り |
| 6. 緑化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 護岸検討委員会で植栽の位置、植栽種の選定等を検討 ● 追跡調査(植物種、生育密度、生育範囲等) |
| 7. 水鳥 | ■ 自然環境調査結果等を用いて施工前後の比較を行う。 |

※護岸直下の観測孔については護岸検討委員会で検討中

8

参考資料 1. 塩浜地区まちづくり基本計画 (市川市)

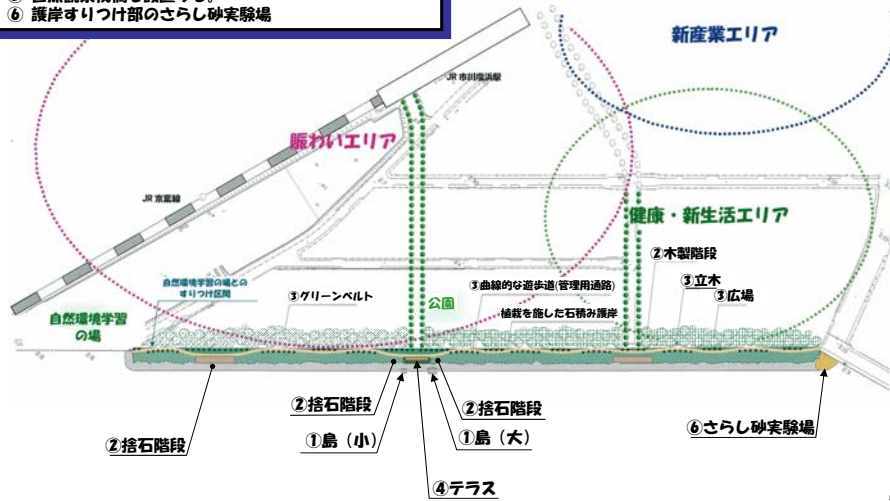


9

参考資料2. 護岸の平面デザイン（検討中）

□平面デザイン（検討中）を踏まえたバリエーションの提案

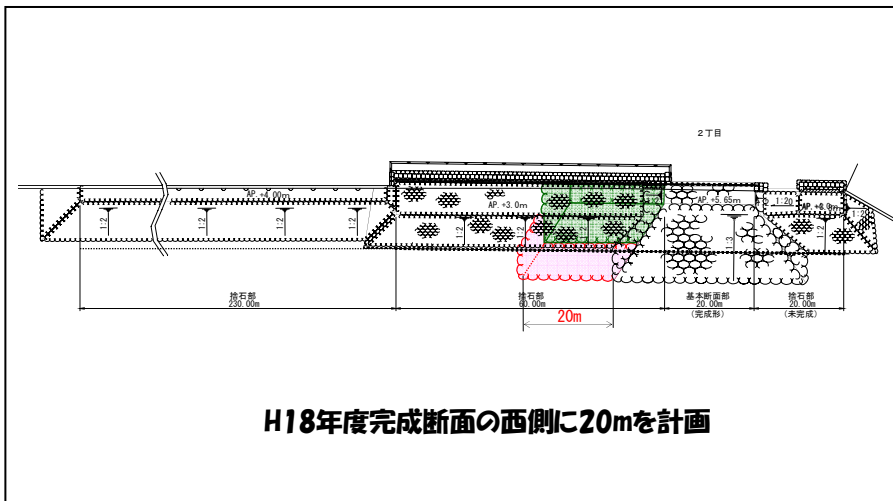
- ① シンボリックなスポットを造る。
- ② 水際へのアクセスができるように階段部を造る。
- ③ マウンドを含めた一体的な整備を図る。
- ④ 段差を利用したテラスを造る。
- ⑤ 自然観察桟橋を設置する。
- ⑥ 護岸すりつけ部のさらし砂実験場



10

参考資料3. H19年度の試験施工について(平面・断面)

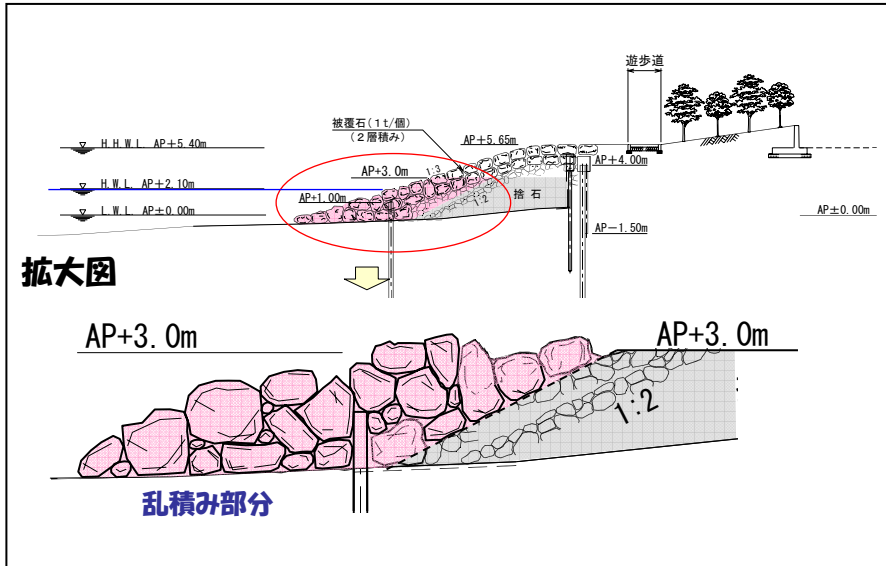
①計画平面図



H18年度完成断面の西側に20mを計画

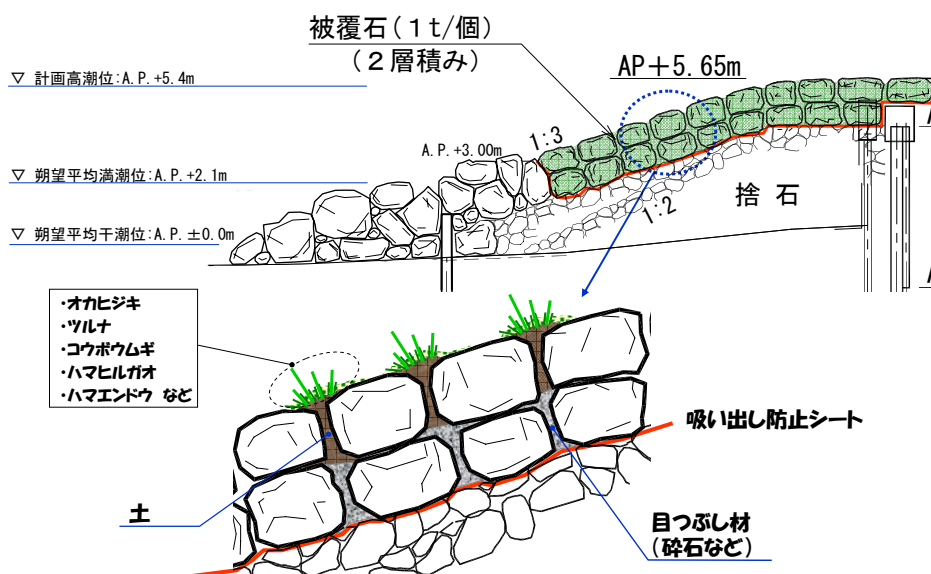
11

②乱積みの計画断面



12

③被覆の緑化工法(案)



13